

# ひとつひととマ通信

2020年9月23日発行

210号

「ひとつひとと通信」は  
毎月お届けする、  
いつもお読みいただき  
ありがとうございます。

こんちは！平川です。朝夕とずいぶん涼くなりました。季節の変わり目は体調を崩しやすいので、お気をつけ下さい。  
では今月もはりきっていきましょう！

## 福岡大渴水

コロナの影響で生活のあらゆる事が制限されて、半年が過ぎました。ところがカンパンして欲しいところですが、私ふと思いついたのです。遠い昔にも似たような出来事があった事を。福岡大渴水ってご存知ですか。

今から42年前、昭和53年、福岡にあります。その方は、遠い記憶にあります。その年は異常なほど雨が少なくて、九州北部は深刻な水不足に見舞われました。なんと昭和53年5月から翌年3月まで、287日間にわたり、給水制限が行われたのです。



これは大変でした。ボリバケツに汲んだ水を毎回ヒャクで流していました。そして大学は休校となり、水を大量に使う理髪店や飲食店では、余儀なく廃業に追い込まれた店舗も少なくなかつたようです。（ウキペディアより）今のコロナと状況が似ています。当時私は、中学生で部活は水泳部でした。飲み水が不足している訳ですから、プールの水の入れ替えなんて、どんでもありません。するとプールは、2週間もしないうちに藻やコケが大量発生しました。私たち水泳部は、中体連に向け、練習を休むわけにはいかず、アメンボが次山いる中、臭いもする中で泳ぎました。しかしその甲斐もなく、その年の水泳の中体連は、全面中止となつたのです。こんなことなら、なぜあの練習で、あの試合で、もっと全力を尽くさなかつたのかと後悔しました。それから数ヶ月後、給水制限が解除されました。そのため毎日来る行水程度しか出来ず、特に水洗トイレへ注ぎ込まれるのを見た時、

そこで、ここからは他愛もない話です。中体連の中止が決まったのち、水泳部は、来年に向け基礎体力をつけるため、毎日走り込みました。その間、プールはそのままで、水はさらに深められ、待ちに待ったプールの水の入れ替え日が決まりました。そして深い緑色へと変化していきました。そして数ヶ月後、給水制限が解除され、待ちに待ったプールの水の入れ替え日が決まりました。そして顧問の先生から呼ばれて一言、「その日までに、プールをきれいに掃除しておくように」とまじですか、

大人はウソをつく「嘘つきは泥棒の始まり」と幼い頃から言われ、育てられました。でも当の大人は嘘をつきます。しかも大人に、あなたは誰がを守るために嘘をついたことはありますか？・メールに動画を紹介しています。宜しければご覧下さい。

さすがに、本当に泥棒の始まりでした。そこで考えたのが、5円と10円をプールに撒くことでした。500円分ぐらいだったと思います。

掃除をしながら、宝探しをすることにしたのです。そして当日、言いました。「プールに沢山のお金を沈めると、見つけたものが、もう一度つか」すると「うおおおー！」まじですかと我先にとデッキグラシを取り、ツルツル滑る中、大掃除が始まりました。もちろん私も一緒に。「おー、10円みっけ」「よかね」その後ヘッドスライディングをして探す部員も出てきました。結局、私たちは、藻だらけになりましたが、楽しく掃除を終えました。今思えば、5円と10円でそこまでハッスル出来るとほ…可愛い時代もあったなど、なつかしく思います。



発行／有限会社アサム  
〒819-1127 福岡県糸島市有田中央2-14-36  
Tel:092-321-4001 Fax:092-321-4002  
・専門学校&スクールサーチ : <http://www.asamnet.jp/>  
・ブログ : <https://itorinri.com/>

ご感想や楽しいメッセージをお待ちしています。メール: hirakawa@asam.jp

FAX: 092-321-4002